

❖ 科目名 Course Title			
ドイツ語 I-1			
❖ 担当教員 Instructor			
副島 美由紀, 杉浦 康則			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	1, 2, 3, 4
❖ 履修可能人数 Capacity	5	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class			

❖ キーワード Key Words			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
<p>ドイツ語の基本語彙や文法を学び、簡単な会話や読解力を身に着けることを目的とします。ドイツ語 I-1は、「会話」と「文法」の両方に配慮した総合教科書（CD付き）の前半部分を使い、週2回（火・木）の授業を行ないます。聞き取りや読解の練習も織り込みながら、総合的なドイツ語力の向上を目指します。外国語の学習には、あくまで能動的な学習態度が求められます。受身にならず、積極的に参加して下さい。語学の学習には王道はなく、日々の努力が大切となりますが、本来は楽しいものです。これから半年、ドイツ語を積極的に楽しく勉強していきましょう。</p>			
❖ 到達目標 Course Goals			
<p>ドイツ語 I-1 の達成目標は以下の通りです。</p> <p>① ドイツ語のごく基礎的な文法・基本語彙を習得する。 ② ごく平易な文章を読むことができる。 ③ ごく平易な文章を書くことができる。 ④ ごく平易な発話を聞き取ることができる。 ⑤ ごく平易な発話を行うことができる。</p>			
❖ 授業計画 Course Schedule			
<p>1-4週 : 【文字と発音】 【あいさつ】 【動詞の現在人称変化】 【数字】 5-8週 : 【名詞の性、格変化】 【所有・否定冠詞】 9-12週 : 【時刻】 【疑問詞】 13-15週 : 【曜日・月・季節】 【前置詞】 【話法の助動詞】 など</p>			
❖ 成績評価 Grading System			
<p>授業回数の1/3以上欠席すると単位取得の権利を失います。小テスト、または中間試験・期末試験の結果を主軸として、授業での受講態度も参考材料としながら総合的に評価します。ドイツ語 I-1 は、ドイツ語 I-2 の履修に耐えうる基礎学力の修得をもって合格とし、以下の基準により成績を出します。</p>			
❖ テキスト Textbooks			
『シュトラッセ・ノイ Ver.3.0』(新野守弘他著、朝日出版社、2,400円)			
❖ 参考書 Reading List			

❖ 準備学習 Homework <p>語学の授業にとっては、予習、またとりわけ復習が大切です。授業に出席する前に必ず前回の授業の復習をし、その日の学修項目に目を通して下さい。毎回、復習課題と予習項目をお知らせしますので、必ず復習と予習を済ませて授業に臨んで下さい。</p> <p>《その他の留意事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト付録のCD を繰り返し聞いて、発音練習をすること。 ・テキストに出てきたキーセンテンスや重要単語を暗記し、いつも使えるようにすること。 ・普段からヨーロッパに関するニュースや本を読むことでドイツ語圏の文化に触れ関心を高めること。
❖ オフィスアワー Office Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information
❖ 履修上の注意 Notes <p>火曜と木曜の授業は連動しており、2単位は一括して出ますから各曜日もれなく出席すること。特に、最初の数回を連続して休むと一気についてこられなくなる場合がよくありますので、注意してください。</p>
❖ 備考 Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。